

農業分野の外国人材受入れに関する現地説明・相談会

ウズベキスタン・タシケント

募 集 要 項

1. 概要・趣旨

一般社団法人全国農業会議所は、農業分野の外国人材受入れ促進を目的に、農林水産省の事業にて海外で現地説明・相談会を開催しています。

現地の送出機関や教育機関の関係者を集め、技能実習や特定技能といった日本の外国人材受入れ制度を周知し、農業で働く魅力を PR することが主な目的です。

この度、ウズベキスタンの首都タシケントで説明・相談会を開催するとともに、関係機関との意見交換や視察を実施します。

このことについて、外国人材の雇用に関心のある農業者や、監理団体・登録支援機関の参加を募集します。参加される皆さまには、日本農業の働く環境や魅力を伝えていただくとともに、次のようなことを趣旨に現地機関や人材と交流いただきます。また、送出機関等の視察も行います。

- ◆ ウズベキスタン人材送り出し事情を知る！
- ◆ 現地の人材と直接交流し雰囲気把握する！
- ◆ 現地の送出機関とつながり人材確保へ！

2. 日程表

※9月5日時点の行程であり、フライト情報及び説明会会場、訪問場所などは変更となる可能性があります。独自で航空券とホテルを手配される場合は、お申込み後に事務局から連絡が入ってからお手続きください。

<u>11月10日(月)</u>	
日本時間 09:00 発	成田空港 0Z107 便
日本時間 11:30 着	ソウル/仁川空港 ※日本と韓国時差なし <乗り継ぎ>
日本時間 16:10 発	ソウル/仁川空港 0Z573 便
現地時間 20:40 着	タシケント国際空港 ※日本とウズベキスタン時差：マイナス4時間
<u>11月11日(火)</u>	<説明・相談会開催日> (タシケント)
午前	タシケント国立農業大学へ表敬訪問・意見交換
午後	タシケント国立農業大学での説明・相談会 開会 夕食・ホテル泊
<u>11月12日(水)</u>	<教育機関・送出機関での説明会、意見交換、視察> (タシケント)

午前	移民庁所管 職業訓練校での説明会・意見交換・視察
午後	送出機関での説明会・意見交換・視察 夕食、ホテル泊
11月13日(木)	
6:30	ホテル出発
7:00	タシケント駅到着
7:21 発	タシケント駅  アフラシアブ号 
9:51 着	サマルカンド駅
午前	日本語学校での意見交換・視察
午後	サマルカンド農業大学や専門学校での説明会・意見交換・視察 夕食、ホテル泊
11月14日(金)	
午前	移民庁サマルカンド支部での意見交換
午後	市場等の視察
16:51 発	サマルカンド駅  アフラシアブ号 
19:17 着	タシケント駅
20:00 着	タシケント国際空港
22:20 発	タシケント国際空港 0Z574 便
11月15日(土)	
日本時間 08:15 着	ソウル/仁川空港
15:35 発	ソウル/仁川空港 0Z106 便
17:55 着	成田空港

各日、現地の送出機関や関係機関と交流します。

ウズベキスタン人材の雇用に関し多様な機関と知り合う機会ですので、奮ってご参加ください。

<11月11日の説明・相談会の流れ>

	内容
①	開会・あいさつ
②	日本農業の働くための解説ビデオ視聴
③	質疑応答
④	参加受入れ機関・監理団体などの紹介（各社数分ずつ）

⑤	個別ブースでの相談会・送出機関の候補生や学生が対象
⑥	個別ブースでの相談会・送出機関や教育機関の職員が対象
<皆さまへお願いすること> ➤ 「参加機関からの経営紹介」でのプレゼン（数分程度） ➤ 「個別相談会」における候補生や学生の対応（参加者からの質問対応など） ➤ 「個別相談会」での送出機関職員等との交流（雇用に関する相談など） ➤ これらに使用する資料の作成・提供 ※資料の量や提供期日によっては、こちらで翻訳をいたします。 ※ウズベク語の通訳を配置します。（自前で通訳を用意する場合を除く）	
プレゼンや相談会対応の際のポイント （他国での開催時に外国人から関心が高かった内容） ・農場や住環境の写真や動画を映す ・（日本語の動画でも）テレビに取り上げられた動画を映す ・キャリアパスを提示し、中長期に就労する可能性を示す ・外国人材が働いている人数、住環境や生活の支援を説明	

3. 参加申込方法

①以下の参加申込ページにアクセスしてください。

<https://ntour.jp/uzbekistan-recruitment/>

②本募集要項又は申込ページの内容をよく確認し、「お申込みはこちら（参加登録）」ボタンから必要事項を入力してください。

申込締切：2025年11月3日（月）

③入力したメールアドレスに参加登録の案内が届きます。

※申込多数の場合、先着や抽選などとさせていただきます。

④その後の段取りは個別にご連絡差し上げます。

<参加費用>

- 参加費は無料です。
- 渡航・宿泊・食事にかかる経費は各自ご負担ください。
- 相談会に対応した機関には1経営体につき、30,000円の謝金を後日支払います。

<参加資格>

- 農業分野で技能実習や特定技能などで既に外国人材を受け入れている、又は受け入れる意向があると認められる農業経営体又は派遣会社であること。
- 農業分野の受入れに対応している監理団体・登録支援機関であること。
- 本説明・相談会の趣旨を理解し、事前及び当日の行程について主催者と連絡調整し、指示にしたがうこと。

4. 渡航方法について

(1) 主催者とともに上記日程に沿って同行し渡航・参加する場合

- ・ご希望の場合は、主催者と同様の航空券、ホテルを旅行会社が手配します。
- ・ご自身で手配いただいても構いません。
- ・現地での移動は、すべて手配したバスに乗りいただけます。

【必要経費の概算額】

航空券…約 17～25 万円（手配時期により実勢価格は変動します）

宿泊費…約 1～2 万円×4 泊分

食事代…実費相当

※運賃額はご購入時点で有効なものが適用となります。ご予約後、購入までの間に運賃・税金・運賃規則は予告なく改訂される場合がありますので、航空券購入時の実際の運賃額で請求させていただきます

※申込後にキャンセルされる場合、事情を問わずキャンセル時点で旅行会社から提示されたキャンセル料を徴収させていただきます

(2) 所定の日時に自身で会場に向かい、自由な旅程で参加する場合

- ・航空券や宿泊、現地の移動は原則各自でご対応ください。
- ・主催者の宿泊ホテルまたは近隣のホテルをご利用の場合は、現地の移動バスに乗りいただくことも可能です。（要相談）

5. 免責事項

本説明・相談会への参加によって損害等を被った場合、全国農業会議所では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

6. その他

本事業の年間契約や各国の特徴などを↓のサイトからご覧いただけます。

<https://agri-gaikokujinzai.info/>

[参考]ウズベキスタンの国民性と人材の特徴

① 日本人にとって親しみやすい国民性

ウズベキスタンは、歴史を遡ればシルクロードの要衝としてユーラシア大陸と日本をつなぎ、サマルカンドやブハラのような世界遺産都市が栄えた中央アジアにある国です。大多数の国民はイスラーム教徒です。信仰の仕方は人それぞれで、欠かさずお祈りをする人もいますが、ヒジャブをしている女性はあまり多くありません。お酒が好きな人もいます。

中央アジアの慣習やイスラームの価値観にもとづいて家族、両親、年長者へ敬意を払い、集団との和を大切にすることが多いので、日本人との相性が良い国のひとつだと言えます。

② 語学力に長けるウズベキスタン人

中央アジアには多様な民族がいることや、かつてソビエト連邦の構成国であったことから、多くのウズベキスタン人が二言語以上を話せます。母語であるウズベク語に加えてロシア語、地域や民族によってはタジク語、キルギス語などを話せる人もいます。近年は英語教育にも力を入れているため、英語を話せる若者が増えています。ウズベク語と日本語の語順が似ていることやウズベキスタン人にとって日本語の発音が難しくないこともあり、日本語の習得も早い傾向にあります。

③ ウズベキスタン政府も日本での人材育成の機会に注視

若年者人口が急増していることを背景として、ウズベキスタン政府は先進国への労働者送出しに力を入れています。日本も重点対象国の一つで、政府は日本での就労を通じて技術を習得し、帰国後に母国に還元することを期待していることから、移民庁はJICAと協力して「日本での就労機会を活用した産業人材育成プロジェクト」を実施し、[Japan Career Portal](#) を通じた適正な情報提供や日本企業と連携した送出国体制の強化を図っています。

また、農業省の意向に基づき複数の農業大学で日本就労を目的とした日本語教育が開始されていることから、今後、ウズベキスタン農業人材が日本で活躍する機会が増加することが見込まれます。

■ **日本で働く労働者数（技能実習及び特定技能）**

技能実習：304 人

特定技能：72 人うち農業分野 6 人

技能実習・特定技能ともに 2024 年でのデータ

■ **送出機関の数**

総数：37 機関／日本対象：6 機関

※送出機関数はウズベキスタン政府が公開しているリストによるものであり、現時点において有効な仲介を担っていることが保証されている機関を示すものではありません。